

を自國領に限定せんとして、
あるが既に蘇州は獨逸を占
據しに大影響を與へてゐる譯
れば英國が東洋沿岸の獨逸領
を、手と忠告の俚家が、
（六月十二日夜告）
高師直と鹽谷高貞
進み、果して彼等が其の言
を實行するか何うかは
怪しいものである。我輩は

▲注意 右兩人とも一週間以内に
通知なき時は無効とす
京城日報編輯局内
川柳係

發行所
東京神田區
歌田田六三〇番
三十九
誠文堂

東京府大田區西三軒五郎町
●特約販賣店●
角一商店
電話 長六〇九番
板橋區京成三三四
常陸(力)又八(力子)
路

是非

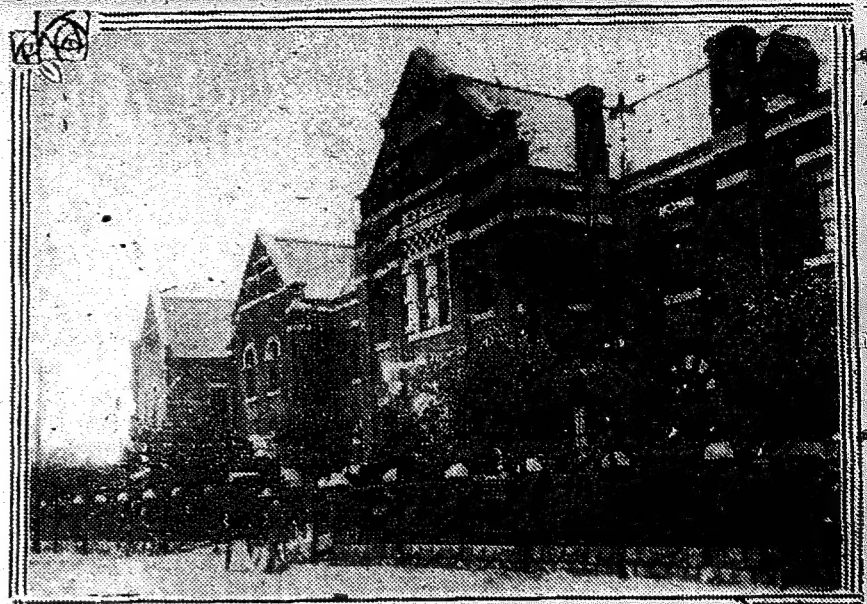
謝靈運

を普京せしむこの返意あり
台したるが政府より二分

さなし政府にて之れ以上有
行策に賛き協議したるが
長片を興ふるか又は生頭
ては低利貸や強迫以上の

觀望し其の上にて態度を要
不況に陥れるが最近には
んミする朕臨に王世土の
及び御料の下落による





校學女明淑の行舉式成落

夕張炭坑爆發

百九十餘名の慘死
十四日午後五時、北海道夕張炭坑爆發、
百九十餘名の慘死、坑口には老幼遺族、
集り、泣き喚び、あり、東洋最慘事。

羅馬尼亞太子 大阪御著に御變更

神戶に於て、外拉生、
羅馬尼亞太子、
大阪御著に御變更、
更相成りたるが、同夜、京都、
一泊、更に、
泊、更に、
泊、更に、

現在驛長助役の 三分の一は退職

大連管理局の大淘汰、
各驛不安に襲はる、
大連管理局の大淘汰、
各驛不安に襲はる、
大連管理局の大淘汰、
各驛不安に襲はる、

大連管理局の大淘汰、
各驛不安に襲はる、
大連管理局の大淘汰、
各驛不安に襲はる、
大連管理局の大淘汰、
各驛不安に襲はる、

重要地圖を 米國武官に賣る

故大山元帥の甥、
國行爲を、
故大山元帥の甥、
國行爲を、
故大山元帥の甥、
國行爲を、

京城の交通整理

本町通の荷車制限、
十七日から施行、
本町通の荷車制限、
十七日から施行、
本町通の荷車制限、
十七日から施行、

退去命令

職工を、
退去命令、
職工を、
退去命令、
職工を、
退去命令、

山縣新長官 歡迎會

山縣新長官、
歡迎會、
山縣新長官、
歡迎會、
山縣新長官、
歡迎會、

山縣新長官、
歡迎會、
山縣新長官、
歡迎會、
山縣新長官、
歡迎會、

家屋税の改正

賦課の公平を企つ、
告知書の配付、
賦課の公平を企つ、
告知書の配付、
賦課の公平を企つ、
告知書の配付、

不景氣來の龍山

勞働も、
不景氣來の龍山、
勞働も、
不景氣來の龍山、
勞働も、
不景氣來の龍山、

米國巡洋艦 大連に入港

大連に入港、
米國巡洋艦、
大連に入港、
米國巡洋艦、
大連に入港、
米國巡洋艦、

勞働助成 熱心聴衆

熱心聴衆、
勞働助成、
熱心聴衆、
勞働助成、
熱心聴衆、
勞働助成、

熱心聴衆、
勞働助成、
熱心聴衆、
勞働助成、
熱心聴衆、
勞働助成、

咬殺す

大規模のヌク、
咬殺す、
大規模のヌク、
咬殺す、
大規模のヌク、
咬殺す、

死は總ての 煩悶を除く

煩悶を除く、
死は總ての、
煩悶を除く、
死は總ての、
煩悶を除く、
死は總ての、

五萬留

五萬留、
五萬留、
五萬留、
五萬留、
五萬留、
五萬留、

五萬留、
五萬留、
五萬留、
五萬留、
五萬留、
五萬留、

水源池見學團

男女老幼を問はず
多數の参加を希望します
六月二十日午前九時、
江を下り、
江を下り、
江を下り、

主権京城日報社

行信んた
券番會社
主権京城日報社
行信んた
券番會社

行信んた 券番會社

行信んた
券番會社
行信んた
券番會社

五月、傳染病

五月、傳染病、
五月、傳染病、
五月、傳染病、
五月、傳染病、
五月、傳染病、
五月、傳染病、

